

《内閣府 男女共同参画局から》

- 令和2年度女性のチャレンジ賞の候補者を募集しています！（2月26日まで）
- 【募集案内】「ダイバーシティ・マネジメントセミナー」申込受付中！（内閣府・経団連共催）
- 【募集案内】シンポジウム「企業価値を高める女性活躍推進 ～ESG投資、SDGs経営に着目して～」申込受付中！（名古屋開催）
- 国連アジア太平洋経済社会委員会（E S C A P）会合参加報告
- 令和2年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズを募集します！（1月20日～2月28日）

《お知らせ》

- 「自営型テレワーク活用セミナー ～in東京～【厚生労働省】
- 第6回国際女性会議WAW!が開催されます！【外務省】
- 「NWECCグローバルセミナー」実施しました【文部科学省】
- 「大学等における男女共同参画推進セミナー」実施しました【文部科学省】
- 男女共同参画による経営発展を目指す農業の働き方改革のポータルサイトが誕生！役立つ情報が満載

です！【農林水産省】

《内閣府 男女共同参画局から》

●令和2年度女性のチャレンジ賞の候補者を募集しています！（2月26日まで）

内閣府では、様々な活動等にチャレンジする女性、団体・グループを表彰する「女性のチャレンジ賞」を実施しています。

令和2年度も、他薦を募集しています。あなたの知っている、「チャレンジして活躍している女性」や「そうした女性を応援している方（男性を含む）」を、是非、ご紹介ください。

1.表彰の種類

(1) 女性のチャレンジ賞（4件程度）

(2) 女性のチャレンジ支援賞（2件程度）

・女性のチャレンジを積極的に支援している個人、団体・グループ（男性による支援を含む）。

(3) 女性のチャレンジ賞特別部門賞（2件程度）

・令和2年度の特別部門のテーマ「スポーツの持つ力～東京オリンピック・パラリンピックに寄せて～」

2.応募期間 令和2年2月26日（水）まで（必着）

※詳細は以下をご覧ください。

URL: http://www.gender.go.jp/public/commendation/women_challenge/c_hyoshou.html

●【募集案内】「ダイバーシティ・マネジメントセミナー」申込受付中！（内閣府・経団連共催）

本セミナーでは、「ダイバーシティマネジメント for SDGs～投資家の視点もふまえて～」をテーマとし、先進企業の経営者からダイバーシティに関する問題意識や取組、成果、今後の課題等について話を聞くとともに、企業・投資家からの事例紹介を通じて、企業におけるダイバーシティ推進への理解を深めます。皆さまの御参加をお待ちしております。

大阪会場：令和2年2月10日（月）14:00～15:30 リーガロイヤルホテル大阪2階ペリドット

※事前申込制、参加費無料

詳細・申込はこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/event/meeting.html>

●【募集案内】シンポジウム「企業価値を高める女性活躍推進～ESG投資、SDGs経営に着目して～」申込受付中！（名古屋開催）

SDGs経営時代の今、企業における女性活躍支援の取組みは、ESG投資の中でも、「G：ガバナンス」や「S：社会」の観点で高く機関投資家から評価され、企業価値に大きな影響を与えるようになりました。シンポジウムでは、先進企業における女性活躍やSDGs達成に向けた取組みを御紹介いただくとともに、機関投資家の立場から、企業の女性活躍やダイバーシティの取組みをどのように評価しているのか等について、御説明いただきます。皆さまの御参加をお待ちしております。

日時：令和2年2月4日（火）14:00～15:30

会場：名古屋マリオットアソシアホテル16階アゼリア

費用：無料

対象：企業の人事、広報、IRの担当者様

申込はこちらから（先着200名）

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0248.html>

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/public/event/2019/020204.html>

●国連アジア太平洋経済社会委員会（E S C A P）会合参加報告

2020年は、1995年の第4回世界女性会議で「北京宣言・行動綱領」が採択されてから25周年（「北京+25」）。

国連では、3月の第64回国連女性の地位委員会（CSW）を始め、様々な国際会議が開催されます。

これに先立ち、11月27日から29日までの3日間、国連アジア太平洋経済社会委員会（E S C A P）において、

「北京+25に関するアジア太平洋閣僚会合」が開催され、これまで5年間の取組についてのレビューが行われました。

我が国からは、田中由美子第64回国連女性の地位委員会日本代表、伊藤信内閣府大臣官房審議官が参加しました。

伊藤審議官から、第4次男女共同参画基本計画の閣議決定、女性活躍推進法の施行や改正、政治分野における男女共同参画

推進法の施行などを紹介するとともに、更なる施策の推進のため、第5次男女共同参画基本計画の検討を行っている」と述べました。

また、田中代表は、パネルディスカッションにおいて、我が国の女性活躍推進法や女性に対する暴力、防災・復興の取組について発言しました。

<https://www.unescap.org/intergovernmental-meetings/asia-pacific-regional-review-25th-anniversary-beijing-declaration>（英語）

YouTube（25th Anniversary of the Beijing Declaration and Platform for Action）

<https://www.youtube.com/watch?v=YQU6aVPrTkg>（動画）

※北京宣言・行動綱領とは

第4回世界女性会議において採択された「行動綱領」は、貧困、教育、健康など12の重大問題領域に沿って戦略目標や取組が盛り込まれており、

男女共同参画・女性活躍の国際的な基準となっています。

http://www.gender.go.jp/international/int_standard/index.html

●令和2年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズを募集しています！（1月20日～2月28日）

すべての人が性別にかかわらず、自分らしい充実した人生を実現する。そのために、個人は人生の時間の使い方を考えること、そして家族、地域、社会は、その生き方を後押ししていくことが求められています。

人生100年時代ともいわれる中、自分らしい充実した人生のためには、すべての人が性別にかかわらず、自分の意思にそって、職業生活や家庭生活、その他の社会生活をおくることが重要です。そのために、「仕事」や「家事・育児・介護」、「学び」、「趣味・娯楽」などにどのように時間を使ってバランスをとるか、考えていくことが必要となります。

自分らしい人生を実現するために、時間をどう使っていくのか。家族や地域、社会はそれをどう後押ししていくのか。それを社会全体で考えていくきっかけとなるキャッチフレーズを募集します。

このキャッチフレーズは、「男女共同参画週間」のポスターをはじめ、様々な場面で広報・啓発活動に使用させていただきます。

- ・応募資格：どなたでも応募できます。なお、応募作品は未発表の自作のものに限ります。
- ・応募期間：令和2年1月20日（月）～同年2月28日（金）まで
- ・応募方法：キャッチフレーズ募集ページに記載の「応募フォーム」に、キャッチフレーズ（1通につき1作品）・住所・氏名・年齢・性別・電話番号等を記入の上、応募ください。

・発表：4月中（予定）に入賞者に通知します。

・表彰等：応募いただいた作品は、内閣府及び外部審査員により審査の上、最優秀賞及び優秀賞を決定します。

<外部審査員> 萩原なつ子氏（立教大学教授）、是枝俊悟氏（大和総研研究員）、林香里氏（東京大学大学院情報学環教授）、谷山雅計氏（「有限会社谷山広告」社長／コピーライター）

・その他：応募作品は返却いたしません。また、入賞作品の著作権は内閣府に帰属します。

※詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/public/week/week.html>

《お知らせ》

●「自営型テレワーク活用セミナー ～in東京～【厚生労働省】

～自営型テレワークの適正な実施のためのガイドラインの説明～」

「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」を理解することで、自営型テレワークを活用する発注者や仲介事業者と自営型テレワーカーが、トラブルを未然に防止し円滑に業務を進めることを目的としたセミナーです。

※会社に雇用されることなく、請負契約などにより、主に自宅などでテレワークを行う方やそのような方へ業務委託をしたいと考えている事業者の方などに向けた説明会です。

開催日：2020年2月7日（金）14:00～16:00（開場13:30）

開催場所：全水道会館 5階中会議室（東京都文京区本郷1-4-1）

【詳細、申込はこちら】

<https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/20200207.html>

●第6回国際女性会議WAW!が開催されます！【外務省】

第6回国際女性会議WAW!が4月3日、4日に開催されます。この会議には、世界各国及び日本各地から様々な分野の第一線で活躍する方々が出席し、日本と世界の女性が輝きを増して生きるための取組について議論し、叡智を出し合います。

次回の第6回WAW!のテーマは、「WAW! with Men（男性と一緒に作るWAW!）～固定観念から自由になろう」です。プログラムは、外務省HPで閲覧ができます。また2月上旬から外務省HPにて一般傍聴者の募集を始めます。どなたでも、無料で参加できますが、席に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

日時：令和2年4月3日（金）～4日（土）

会場：ホテルニューオータニ（東京）

参加費：無料

プログラム

「女性活躍推進のための男性のリーダーシップ～HeForSheの取組」

「人生を通じて輝き続けるために」

「スポーツとダイバーシティ、スポーツの持つパワー」

「ジェンダーに基づく暴力とその原因、私たちにできること」 他

詳しくは、外務省HPをご覧ください。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_003385.html

●「NWECグローバルセミナー」実施しました【文部科学省】

NWECでは令和元年12月6日に『ジェンダーとメディア』をテーマとしたグローバルセミナーを都内で開催し、内外から約100名の参加者がありました。

第Ⅰ部では「ジーナ・デイビスメディアにおけるジェンダー研究所」所長のマデリン・ディ・ノーノ氏が『メディアにおけるインターセクショナリティ（交差性）を問い直す』と題した基調講演を行い、性別による台詞の多寡やリーダーとしての女性の表象、人種・障がいの描き方などについての問題点を論じました。

第Ⅱ部のパネルディスカッションでは、国連のコミュニケーション戦略や女性の災害記録活動などを挙げ『メディアを通じた女性のエンパワーメント』について議論を深めました。

ジェンダーとメディアの関係性を多角的にとらえようとする、熱気あふれるセミナーとなりました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.nwec.jp/global/seminar/ecdat60000004ous.html>

問合せ先

国立女性教育会館研究国際室 越智

TEL:0493-62-6437

●「大学等における男女共同参画推進セミナー」実施しました【文部科学省】

NWECでは、「女性研究者支援から広げる大学等の男女共同参画」をテーマとした標記セミナーを12月20日に都内で実施しました。

セミナーは、岩手大学長の岩渕明氏による基調講演からスタート。男女共同参画の推進のプロセスや成果、課題についてお話いただきました。続くパネルディスカッションでは、大阪大学、立命館大学、高専機構が女性研究者支援取組を紹介。職員や学生も含めた大学等が抱える男女共同参画の課題解決に向

けて、参加者も含め意見交換を行い、地域や企業など異質なもののネットワークの重要性が語られました。

参加者からは、「どのように推進していけばよいかたくさんヒントをもらった」「パネルディスカッションでさらに課題や問題意識を深めることができた」などの感想が寄せられました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

https://www.nwec.jp/event/training/g_daigaku2019.html

□問合せ先

国立女性教育会館事業課 島田、石倉

TEL:60493-62-6724

●男女共同参画による経営発展を目指す農業の働き方改革のポータルサイトが誕生！役立つ情報が満載です！【農林水産省】

（公社）日本農業法人協会は、WEBサイト「Step WAP-農業の働き方改革-」を開設いたしました（令和元年度農林水産省補助事業）。

農業経営において、こんなお悩みありませんか？

「働きやすい職場にしたい」、「労働条件を整えたい」、「従業員の成長を促したい」、「ワーク・ライフ・バランスについて知りたい」、「コミュニケーション能力を向上したい」、「家族経営のレベルアップを図りたい」、「夫婦でしっかり話し合いたい」、「家族経営協定について知りたい」

男女共同参画による経営発展を目指し、女性が活躍できる会社になるためのヒントや経営発展に役立つ情報を多数掲載しています。

ぜひご活用ください！

■Step WAP-農業の働き方改革-

<https://step-wap.jp/>

=====
●内閣府 男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。
男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等の情報を掲載しています。

<http://www.gender.go.jp>

●男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日に配信しています。

次号は、令和2年2月14日（金）に配信する予定です。

=====
●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。このまま御返信いただいてもお答え
できませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>